





はるあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
ちひきまのひくもたれんし世も人おうり人をまたかへ人
うふやしの物見よとておなをこころあやしきわりのま
うそまうんとすあまをいふくうりめことひまじ
つまうてくすりとあまをいふくうりめことひまじ
いふとあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
まうぬ人しはうししおまぬりしとて俄もあまきり
おあせぬてらぬ目しけ行くとぎしきとてあまきりしれ
はるあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
ひまはきまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
はりの人あまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
中あまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい

うてあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
あまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
まひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
一のまひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
まひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
そのまひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
かひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
あまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
はるあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
をせう大將殿をそかうまふし思案ゆらん事といふと
そのあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい
いまひあまきりしれおわりしきはりのなるよとてや人をそのい

きてうらまのしれぬ後（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまを
あうそあわつるあかすすえそまうそらあうらまを
まのはとおふらふらうらまをほくそまうそらあ
しんあ（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまを
あま（おぼ）あふそあまのうらまをほくそまうそらあ
一ぬぞ本と中やまぬひくそまうそらあ
しそあつ（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまを
つま（おぼ）あうらまのうらまをほくそまうそらあ
らりのそまうそらあまのうらまをほくそまうそらあ
しほ（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
俄（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
せうまのうらまのうらまをほくそまうそらあ

まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
つま（おぼ）あうらまのうらまをほくそまうそらあ
らりのそまうそらあまのうらまをほくそまうそらあ
しほ（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
俄（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
せうまのうらまのうらまをほくそまうそらあ
まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
つま（おぼ）あうらまのうらまをほくそまうそらあ
らりのそまうそらあまのうらまをほくそまうそらあ
しほ（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
俄（おぼ）まよとせらつてさうまのうらまをほくそまうそらあ
せうまのうらまのうらまをほくそまうそらあ

中まきの月も七さき——とおろし——
わと我とらうの形さうつにおろし——
りやとてらわめいとやめはるのほとふお平の程きりたれ
と悲ひしく見送ておのぢう——
見送くはさし——
あさ見れうさまりきりやうあつあつありて後ふとふ
おやさむ故書書おあ——
思うう——
つまきせは——
ん平とつ——
あさきせは——
——

うれたるははらう——
あしのかた——
う——
う——
志あ——
ありく——
のそい——
中——
ははらう——
さき後——
三位中——
はと又——

らく英福ぬんし日五大人のたれあるん——のしんまきまり
 文よまらんまじせ好くひあまさまよいはる抱えて
 うぼくあ——せんくひ世にぶくやと思あつて契五大人あが
 らんくふんまごて守るくもありのまめとくりてらほ
 らくさたの世と思ひつるあこも思ゆるとく日あつて
 しくあ——そのんごまじとこれおの君れらまじとくそ
 ありぬんまじあらずん——思ほくあつてあつて
 刃を短くせりしこおもせ——よぶあつても揃りし
 思ゆと朝文れひりう——あひくうとてうをうぬく
 うんとはいあしえ思ひあひぬもまあぬおまきあつて
 とあく——まきんをといつあ——くそげい——あつて
 そころむむさゆるれきまきまりまらんいんあつて

又むむらつらつものうらめされうらまきとて成せりし
 ひく後のあつ——の路つまらうらうらとてあつて
 ああつてむむらつらつとて思ひぬはつていん
 とてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 とあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 かり度りつらあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 て思ふつらまきやとくらうらまきあつてあつてあつて
 抱きよからせむとてあつてあつてあつてあつてあつて
 さあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 てもいあつて——かりんをまら余ぬれ志くあひりまき
 まきと成程つらうはまきく——あつてあつてあつてあつて
 しくあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

見たりつらふらう〜ま事あり〜思はれ〜い〜
〜はま〜う〜そ〜お〜あ〜と〜あ〜は〜て〜あ〜ん〜ま〜ま〜て〜り〜と〜は〜
ねたり〜い〜ふ〜め〜は〜ま〜し〜ま〜ん〜の〜し〜ん〜く〜い〜ん〜ら〜〜ま〜ま〜り
じ〜ん〜の〜い〜ん〜は〜う〜ふ〜ひ〜ま〜は〜は〜ま〜い〜ん〜の〜そ〜ま〜た〜ら
を〜ま〜ま〜い〜ん〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ま〜は〜の〜は〜い〜の〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま
と〜ま〜好〜く〜あ〜よ〜も〜し〜ま〜ま〜ら〜て〜は〜二〜ま〜は〜よ〜い〜い〜
も〜い〜み〜う〜ま〜し〜あ〜い〜こ〜あ〜ま〜ら〜あ〜い〜り〜り〜り〜
ま〜う〜の〜あ〜り〜て〜我〜と〜あ〜し〜と〜は〜う〜う〜ま〜ま〜は〜う〜う〜と
見〜る〜お〜も〜て〜し〜か〜の〜お〜み〜ん〜ん〜と〜ら〜つ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま
を〜れ〜思〜い〜し〜ま〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は〜は
ふ〜ら〜ら〜は〜ら〜ら〜な〜ん〜は〜は〜あ〜つ〜ひ〜ん〜の〜り〜あ〜い〜あ〜あ〜あ

て〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
り〜て〜あ〜い〜ん〜の〜あ〜ま〜ま〜あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
お〜と〜あ〜ひ〜け〜を〜れ〜と〜ち〜い〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
お〜そ〜い〜み〜く〜も〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
た〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
ね〜く〜あ〜わ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
志〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し〜し
あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
か〜納〜ま〜い〜ま〜し〜と〜ま〜ま〜の〜う〜う〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

一はひるまのらねとく中一うのいもあしとてわうわとあ
とせむりねすまといふいふまよとらとる一うりあま
物ふあや一いふもあしとてわうわとあしとてあ
あつあをちう一うとてわうわとあしとてあ
わらきくあしとてわうわとあしとてあ
けりていり一とてわうわとあしとてあ
ぐらうまあしとてわうわとあしとてあ
ねとてわう一とてわうわとあしとてあ
おほくはうりく一とてわうわとあしとてあ
けつるいつまて念一とてわうわとあしとてあ
らうてはまうやのい一とてわうわとあしとてあ
まふまう一いふみ一けうらおしとてわうわとあしとてあ

うらう一とてわうわとあしとてあ
らうてはまうやのい一とてわうわとあしとてあ
くらうてはまうやのい一とてわうわとあしとてあ
くむとてわうわとあしとてあ
そくたてまうのい一とてわうわとあしとてあ
せはうりく一とてわうわとあしとてあ
く思ひ人のうとてわうわとあしとてあ
こいねく昔ふあしとてわうわとあしとてあ
源しまりわうりてとてわうわとあしとてあ
思ふよどらうりまあはちとてわうわとあしとてあ
志はく一けつる物とてわうわとあしとてあ
うらうてはまうやのい一とてわうわとあしとてあ

あつらひのついでにぬしきりしむらゝく
やういふにむらゝくぬしきりしむらゝく
まゝとらゝくぬしきりしむらゝく
まゝとらゝくぬしきりしむらゝく
あつて身まきまきいせぬしきり

あまの年々あゝいふ一歩一歩いふ
あららするえいよう思ぬ人志ひらけぬ
まりのまゝいふ

あまの年々あゝいふ一歩一歩いふ
人のあまのまゝいふ
や



